



## 公益社団法人茨城県診療放射線技師会

# INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5階 発行責任者:川又 誠 編集:水木 一弘  
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

### 令和2年度 第6回理事会議事録

開催日時:令和3年1月13日(水)18時~

場所:web会議

出席:川又 誠, 宮本 勝美, 圓谷 明男,  
長谷川 光昭, 村木 一夫, 瀬谷 善恭,  
鈴木 昭義, 横田 浩(監事), 鈴木 達也,  
根本 宏之, 福谷 悌和, 水木 一弘,  
小澤 篤史, 館野 誠, 石森 佳幸, 奥村 英一郎,  
山下 ひろみ, 藪部 純一, 沼尻 俊夫,  
山田 公治

欠席:野澤 哲也, 守田 美和子(監事)

議長:川又 誠

書記:圓谷 明男

#### 【定数確認】

事務局より、理事19名の出席が確認され、定款により本理事会が成立するとの報告があった。

#### 【報告事項】

##### 【1】会長報告

令和2年12月11日(金)開催

JART理事会報告

○認定診療放射線技師規定の改定  
(令和2年12月11日より施行)

上部消化管認定診療放射線技師は廃止となり、下部消化管認定診療放射線技師、画像等手術支援認定診療放射線技師の2つの認定に変更された。

受験資格は、本会の会員でなくても良い事となった。

認定試験受験料、認定審査料、更新審査料は、会員は5,000円(非会員10,000円)

○令和3年の事業総括

2021年度の主な事業計画

1. 新たな役割拡大に伴う告示研修の実施
2. 医療放射線安全管理の推進
3. 読影の補助・放射線検査説明事業の推進
4. 診療報酬改定に向けた事業の展開
5. オンライン事業の推進

オンラインによる事業展開は交通機関の利便に乏しい地域の会員にとって、今後の技師会活動及び研修会等への参加が容易になり大きな利点となることが明らかになったため。

6. 新しい生涯教育制度の展開

7. 第37回日本診療放射線技師学会の実施  
東京ビックサイトにおいて感染対策を十分に施した会場とオンラインのハイブリッド形式で開催。

8. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists の実施

9. 事務局業務の効率化推進

移転した新事務所における事業効率の向上のため、可能な範囲で押印廃止

テレワークを推進

10. 綱領解説文及び倫理綱領の周知

令和3年度のスローガン「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう」

各都道府県との連携強化 タスクシフト/シェアに伴う業務拡大を推進する。

○令和4年度 創立75周年 式典の準備

○セミナー、総会、会議、地域技師会の学術支援、新生涯教育システムを目的としたWebツールの導入検討を1年間延長し2022年より運用開始となる。

○診療放射線技師養成所のカリキュラムが95単位から102単位に決まった。

○タスク・シフト/シェア推進に伴う既有資格者の告示研修

2019年3月に取りまとめられた厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会報告書において、2024年4月から勤務医の時間外労働上限を原則年960時間以下とすることになる。現在医師から診療放射線技師へのタスク・シフト/シェアについて検討が行われ、新たな業務拡大が行われることになった。これに伴い、新たな業務拡大に伴う講習会を開催する予定である。既に資格を取得済みの者については、法令により厚生労働大臣が指定する研修を受講することを業務実施の要件とすることとなり、研修の受講が義務化される。

診療放射線技師免許取得者約55,000名に対する研修が行われる。

講義についてはオンライン講義(オンデマンド型)、シミュレーションについては少人数での対面実習とすることを基本とし、オンラ

イン講義（オンデマンド型）では時間数の担保と確認試験を実施することを条件とする。

2021年6月に予定されている法令改正に対応できるように準備する。

2021年度のみ、業務拡大に伴う統一講習会を受講済みの者に対してのみ実施する。

＊実施可能とする行為

- ・ CT、MRI 造影検査や RI 検査のために、静脈路を確保する行為、RI 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- ・ RI 検査のために、RI 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
- ・ 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為
- ・ 下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為
- ・ 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為
- ・ 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

○会員数報告数 11月時点 103名増加  
31,380人

【2】北関東地域役員会及び教育委員合同会議報告

○2020年11月29日 北関東地域役員教育委員会合同 Web 会議が行われ、当会より川又会長、宮本副会長、圓谷副会長が出席した。基礎講習は全ての県で中止となった。フレッシュセミナーは栃木県以外の県で開催された。Web ソフトの購入、運用状況について確認した。

来年度の茨城県の基礎講習は、2022年1月頃、CT 研究会担当で開催予定。

【議事】

【1】技師会会費減額について

臨時総会を書面で開催して新型コロナウイルス感染症の影響による会費減額規程を審議することとするため臨時総会の開催を準備していくこととするが、税理士の先生に開催に関して確認をしたうえで最終的に開催できるか判断する。

確認のうえ、開催が困難と思われた場合には開催をしないものとする。 承認

【2】学術担当理事について

福谷理事退職に伴い、鈴木昭義理事を学術担当とする承認

【3】令和3年度定時総会について

2021年5月28日（金）集会での開催の予定 承認

【4】令和3年度事業計画、予算案について  
令和3年度事業計画、予算案について確認した。 承認

【5】令和2年度事業報告、収支報告について各担当は、令和2年度の報告を3月15日までに野澤理事に報告する 承認

【6】その他

退会申請3名

会費等納入規程 第8条（長期療養者等の免除）※の申請 産休育休 4名 承認

※会費等納入規程 [長期療養者等の免除]

1. 第8条 正会員が療養等のため1年以上離職及び休職した場合は、会費納入の免除の取扱いを受ける事ができる。
2. 前項の規程に基づき会費納入免除の取扱いを受けようとする者は、会費納入免除申請書を添えて申請し、理事会の承認を受けなければならない。
3. 本規程の会費納入免除は、2年を超えないものとする。
4. 本規程による会費納入免除されたものは、免除期間中会員の権利を停止するものとする。  
山田理事：放射線機器の補助金に関する茨城県の対応状況について問題提起があった。

## 令和2年度 第7回理事会議事録

開催日時：令和3年3月10日（水）18:30～  
19:00

場 所：Web (Zoom) 会議

出 席：川又 誠、宮本 勝美、圓谷 明男、小澤 篤史、村木 一夫、野澤 哲也、館野 誠、長谷川 光昭、鈴木 達也、石森 佳幸、奥村 英一郎、山下 ひろみ、鈴木 昭義、瀬谷 善恭、菌部 純一、根本 宏之、水木 一弘、山田 公治

欠 席：沼尻 俊夫、福谷 悌和、横田 浩（監事）、守田 美和子（監事）

議 長：川又 誠

書 記：圓谷 明男、宮本 勝美

### 【定数確認】

事務局より、理事 18 名の出席が確認され、定款により本理事会が成立するとの報告があった。

### 【議事】

#### 【1】令和3年度定時総会議案 会費減額と規定改定について（資料1）

川又会長：前回第8回理事会において技師会費減額が承認されたが、会費等納入規程第9条において、規程の改廃は、理事会の決議を経て総会の承認を得ることとあり、来年度の会費減額断念の経緯について説明がされた。また、今後災害の緊急対応時の会費減額が直ちに出来る様にするため会費等納入規程の改定について提案した。

瀬谷理事：会費減額規定改定（案）について資料に基づき説明が行われ審議した。

鈴木 達也理事より第9条について、理事会承認後会長が免除額を提示する様な誤解を招くと指摘があり審議した結果、第9条2項を会長は当該事項の理由及び減額または免除額を提示すると修正した。修正後出席者全員一致で承認した。

#### 【2】令和3年度事業計画、予算案、設備投資の見込み等について（資料2, 資料3）

野澤理事：事業計画及び予算案について資料に基づき説明が行われた。また、資金調達及び設備投資の見込みについては、資金調達及び設備投資の予定がないことの説明があった。

質疑応答はなく、原案どおり出席者全員一致で承認した。

#### 【3】その他

野澤理事：会議ソフト ZOOM の購入について提案があり審議した。

山田理事：100 人を超える参加者がいる研究会等について、会費徴収についての質疑があった。

川又会長：100 人を超える場合は、ZOOM 契約をその時のみ 100 人以上で契約する事を考えているとの回答があった。

野澤理事：振込手数料が発生するので研究会レベルの会費徴収額での徴収は現実的ではないとの回答があった

鈴木達也理事：参加証の発行について質疑があった。

根本理事：事務鈴木氏と連絡をとり PDF 形式で参加者にメールにて発行しているとの報告があった。

4 月以降に実施できる様に、ライセンス数な

ど契約内容について野澤理事と園部理事が協議し契約する事となった。参加証発行については、今後事務鈴木氏が状況を把握しているので問い合わせにより対応する。来年度の会議ソフト ZOOM の購入について出席者全員一致で承認した

次回 4 月 14 日（水）18：30 より

## 《 行 事 報 告 》

### 《令和2年度MR研究会開催報告》

開催日時：2021.02.04 19：00～20：00

開催場所：ZoomにてWEB開催

参加者：会員27名、非会員24名、合計51名参加(学生17名)。

### 《2020年度 茨城県診療放射線技師会 放射線治療技術研究会 開催報告》

テーマ：ZOOM に慣れよう

開催日時：R3.3.9(火)

開催場所：web

参加者：会員25名、非会員6名 計31名

### 《第134回茨城県超音波研究会Webセミナー 開催報告》

2021年2月6日(土)掲載

日時：2021年3月23日(火)18時30分から20時30分

開催様式：ZOOM オンライン WEB セミナー

内容：『各施設の脂肪肝の評価方法について（座談会形式）』

参加費：会員、非会員ともに無料

## 《 お知らせ 》

### 「読影の補助に関する講習会」コンテンツの e-Learning ページ公開のご案内

過去に実施した、「読影の補助に関する講習会」のうち講師の承諾が得られた、2 演題について、コンテンツ作成にご協力いただき e-Learning で公開することとなりました。

短時間でご覧いただけるよう、1つの講演内容を分割してあります。

約1年間の期間限定となっています。日々の検査に役立つこと間違いありません。この機会に是非ご覧ください。



**【国通知】4職種（診療放射線技師、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士）に係る登録済証明書のオンライン発行システムの稼働について**

例年、3月から5月にかけて申請が集中し、登録済証明書の発行までに時間を要しているため、このたび、資格確認の迅速化を図り、申請者の利便性向上を目的として、申請者が自身の登録済証明書をWEB上で確認し、印刷するための「医師等免許登録確認システム」

<https://confirmationdt.mhlw.go.jp>を当省ホームページに設け、令和3年2月26日から稼働することとしました。つきましては、本システムを積極的に活用し、申請者が就職等の手続を円滑に実施できるよう、貴管下の関係養成所、関係機関、関係団体等に対し周知よろしくお願いいたします。なお、登録済証明書の発行については、従来通り葉書による申請も可能であることを申し添えます。

また、別添のリーフレット

([leaflet2021.pdf](#))「診療放射線技師・視能訓練士・臨床工学技士・義肢装具士の皆様へ」を作成しましたので周知に際しご活用ください。（厚生労働省ホームページ 資格申請案内）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iryuu/shikakushinsei.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/shikakushinsei.html)

「オンライン申請の手順」よりご覧いただけます。

**【定時総会開催予定】**

日時：2021年5月28日（金） 19時～  
場所：茨城県総合福祉会館コミュニティホール  
永年勤続40年表彰、令和2年度事業報告、令和2年度会計報告・監査報告等



**《 会員 動 向 》**

1. 現在の会員数……687名(3月5日現在)
2. 入会  
小沼 祐子 筑波メディカルセンター病院



**《 編集後記 》**

新年度となり、送別会・お花見・新人歓迎会と例年ならば春の飲食を共にする機会があったはずでしたが、今年も出来ませんでした。

「コロナウイルスワクチンを接種するまで控えよう!」、という流れですが皆様の施設等如何でしょうか? ここ1年でweb会議が普通の事になり、セミナーも講習会も増えてきました。マスクなしでの集まりも令和では見られなくなるのでしょうか。楽しく健康に過ごせるよう皆様、無理をなさらずご自愛くださいませ。

編集 水木

